

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。  
本書は、シグネチャーイルミブレードの取付要領について記載してあります。  
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

### 取り付け上の注意事項

- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様に配慮して下さい。また、部品に傷を付けない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 重要** ■ 取付作業は、補機バッテリーのマイナス端子を外してから行って下さい。また、マイナス端子がプラス端子と接触しないようにしてください。  
作業終了後は、各システムの設定・確認を行って下さい。
- 商品の仮合わせ時等においては、マスキングテープ等で製品と車両側への傷付き防止策を行なった上で実施して下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様に注意して下さい。
- 本製品の取り付けは、2名で作業を行なって下さい。
- 両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。  
脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- シグネチャーイルミブレードを取り付ける部品の汚れ等をウエスで拭き取って下さい。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。  
(PACプライマーN200を本品に添付)
- 重要** ■ プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- 重要** ■ 両面テープは、外気温が15℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
- 両面テープのプライマーは、溶剤が揮発する為、速やかに作業を終了して下さい。
- 両面テープのプライマーは、特に塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- 重要** ■ 両面テープの圧着を十分に行って下さい。500kPa (5kgf/cm<sup>2</sup>) 以上

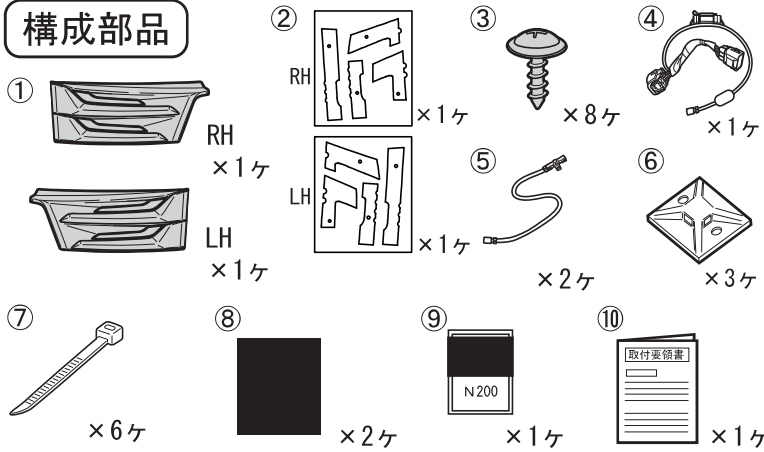
### 取り付け完了後の点検・注意事項

- シグネチャーイルミブレードが、車両に確実に貼り付けされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、シグネチャーイルミブレード及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、最低3時間は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。  
(両面テープの剥がれ、車両とシグネチャーイルミブレードとの間に隙間が発生する恐れがあります。)



アドバイス...この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

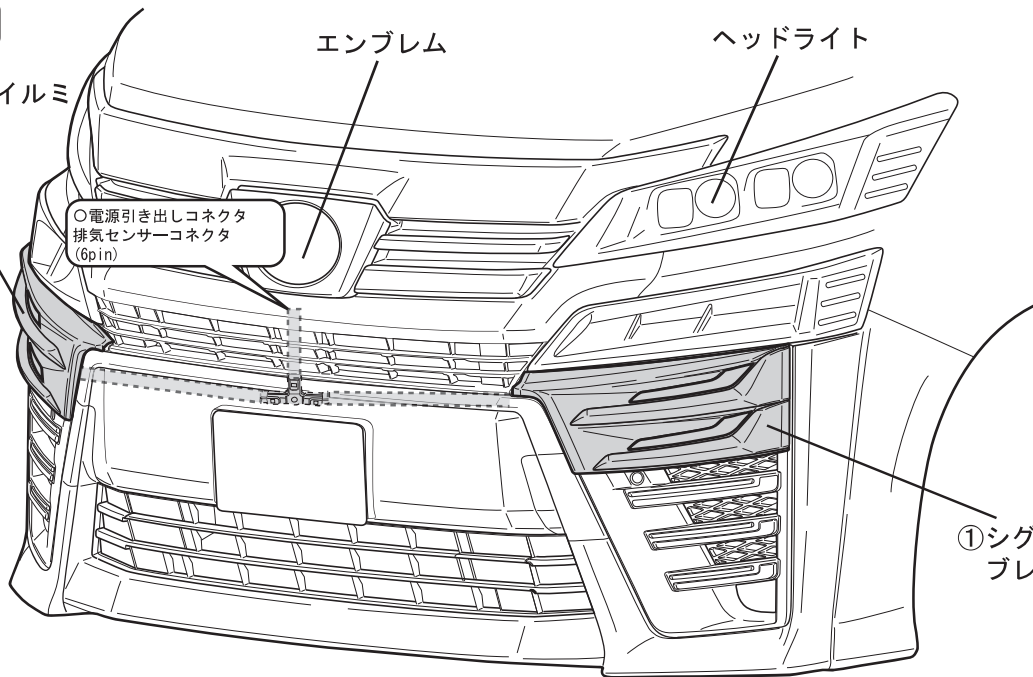
構成部品



No.	品名	個数
①	シグネチャーイルミブレード_LH/RH	各1
②	位置出しシールLH/RH	各1
③	タッピングスクリュー (M4×12)	8
④	電源ハーネス	1
⑤	中継ハーネス	2
⑥	マウントベース	3
⑦	結束バンド	6
⑧	エプトシーラー	2
⑨	N200 PACプライマー	1
⑩	取付要領書	1

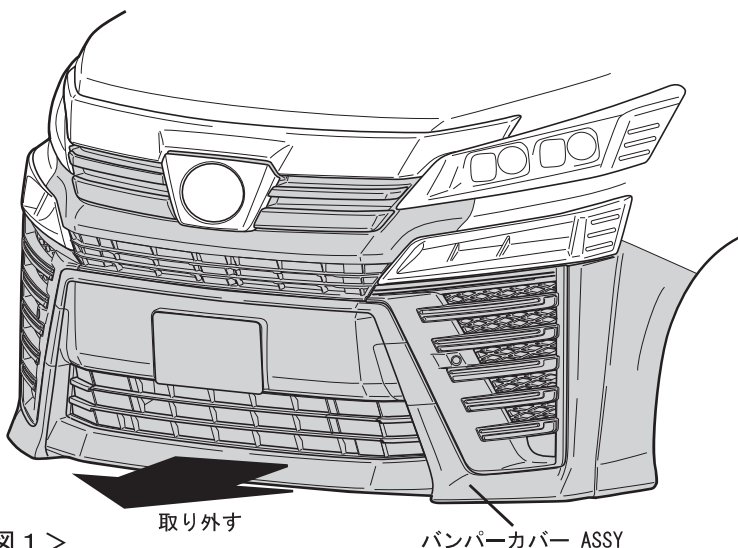
取付概要

①シグネチャーイルミブレード\_RH



取付手順

I. 車両部品の取り外し



1. 補機バッテリーの (-) 端子を外す。



アドバイス

- ・ (-) 端子が (+) 端子に接触しない様にして下さい。

2. バンパーカバー\_ASSYを車両からを取り外す。(図1参照)



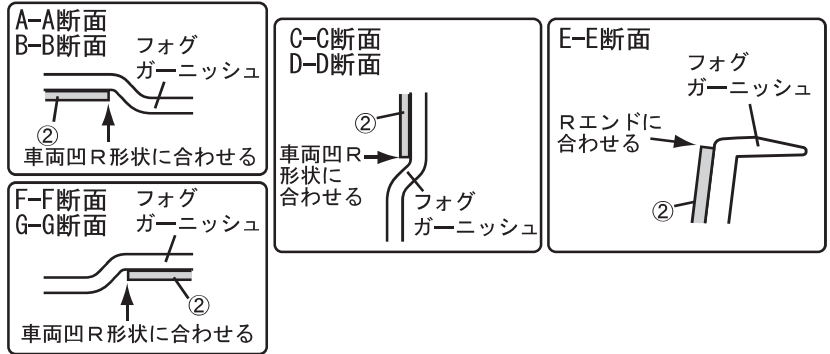
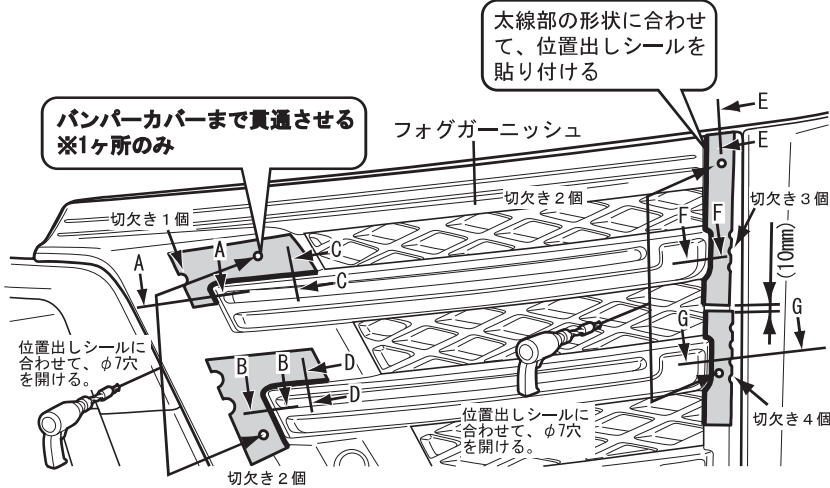
アドバイス

- ・ 車両部品を取り外す際は、トヨタ自動車整備マニュアルを参照して下さい。

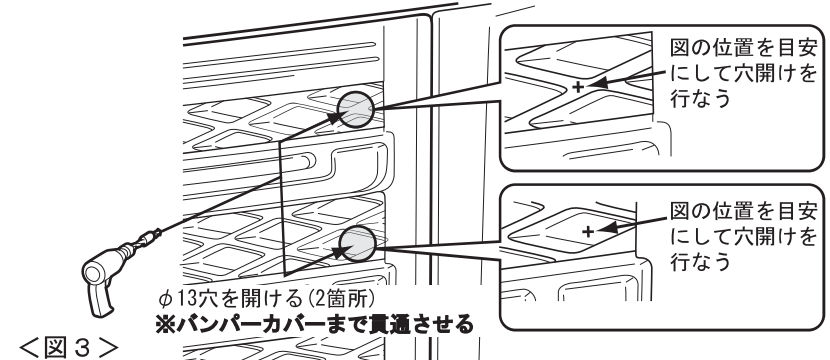
<図1>

## II. 車両部品の穴あけ

※以下の手順はLH側を図示しています。  
RH側も同様の手順で行ってください。

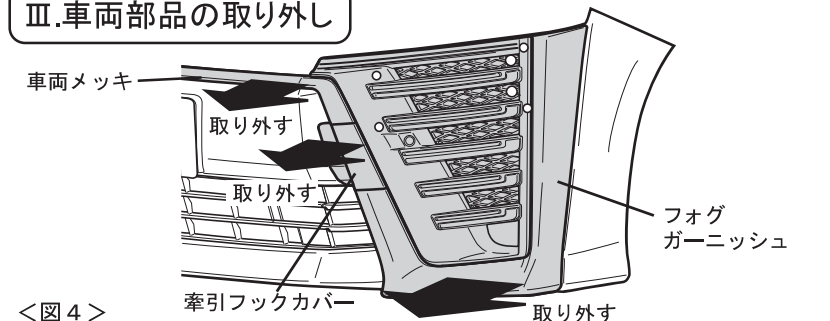


<図2>

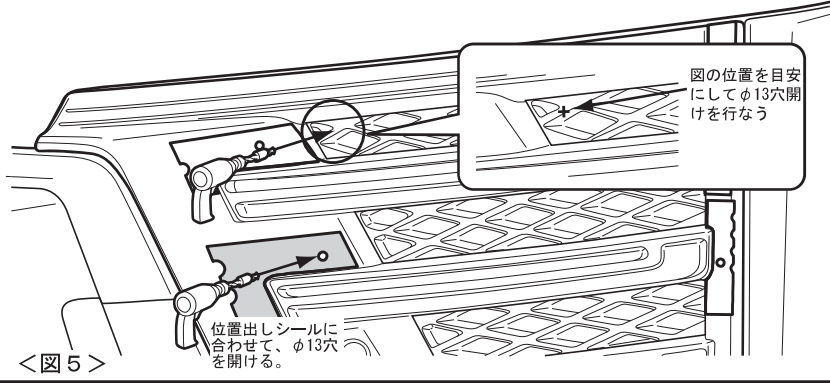


<図3>

## III. 車両部品の取り外し



<図4>



<図5>

- ②位置出しシールをフォグガーニッシュに貼り付ける。(図2参照)



### アドバイス

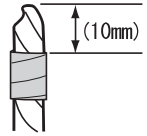
- ・左右の識別は、凸形状(RH側)、凹形状(LH側)としています。
- ・貼り付け位置は、凸形状・凹形状の数で識別して下さい。

- ドリルを使用してフォグガーニッシュにφ4→φ7の順に穴を開ける。(片側4箇所)

その際、左図指示箇所のみ、穴をバンパーカバーまで貫通させる。(図2参照)

### 注意

突き抜け防止のため、ドリル先端から10mm程度のところにマスキングテープ又はガムテープを巻いて下さい。



- ドリルを使用して黒ガーニッシュにφ4→φ7→φ13の順に穴を開ける。(片側2箇所)(図3参照)

### 注意

バンパーカバーまで貫通させて下さい。

### 注意

車両部品取り外し後に、追加の穴開け作業を行いますので、型紙シールは剥さないで下さい。

- 牽引フックカバー・車両メッキ・フロントグリル・フォグガーニッシュの順番で、各部品をバンパーカバー\_ASSYから取り外す。(図4参照)

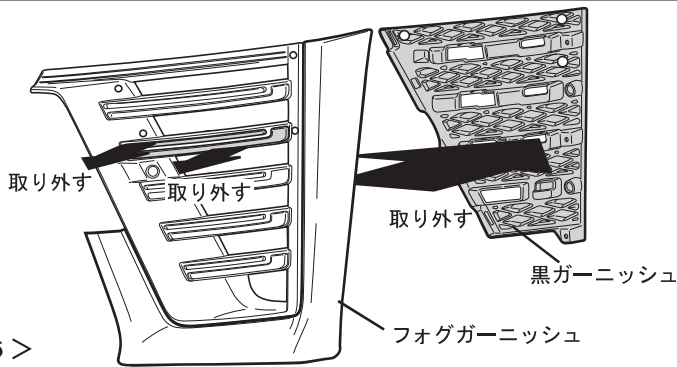


### アドバイス

- ・車両部品に傷が付かないように、マスキングテープ等で保護をして作業を行って下さい。

- ドリルを使用して、フォグガーニッシュにφ4→φ7→φ13の順に穴を開ける。(図5参照)

- ②位置出しシールをフォグガーニッシュから剥がす。



<図 6>

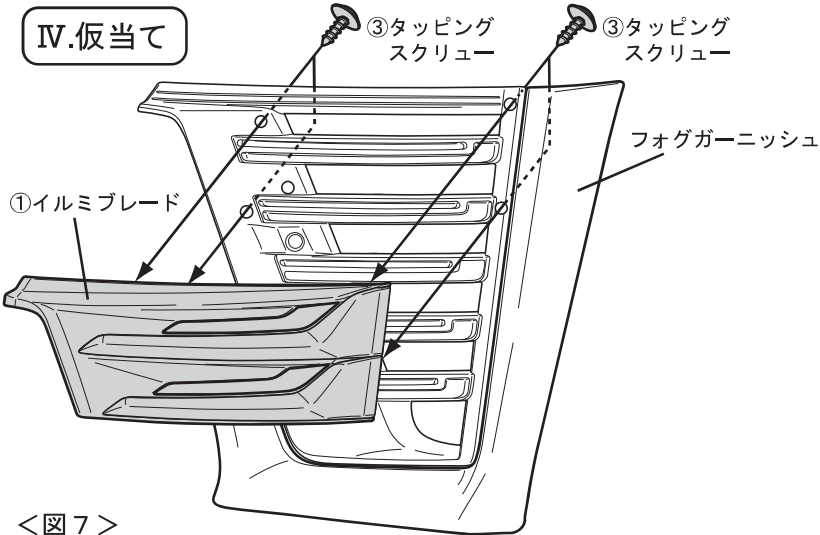
4. 黒ガーニッシュをフォグガーニッシュから取り外し、穴開け部のバリを取り除く。(図 6 参照)
5. 左図位置のメッキ部品 2 本をフォグガーニッシュから取り外す。(図 6 参照)



**アドバイス**

- ・取り外したメッキ部品は再使用しません。

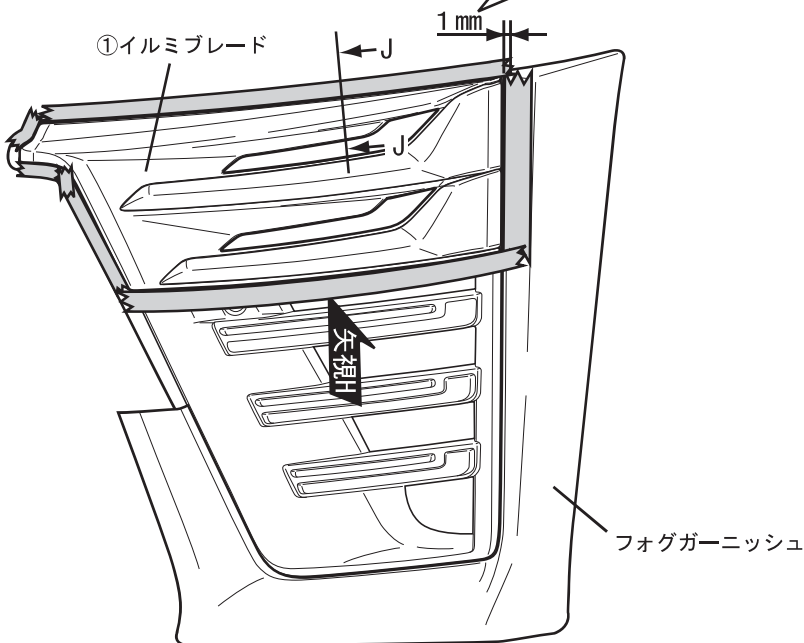
**IV. 仮当て**



<図 7>

1. ①シグネチャーイルミブレード (以下、イルミブレードと省略) をフォグガーニッシュに仮当てをし、裏側を③タッピングスクリューで仮固定する。(図 7・図 8 参照)

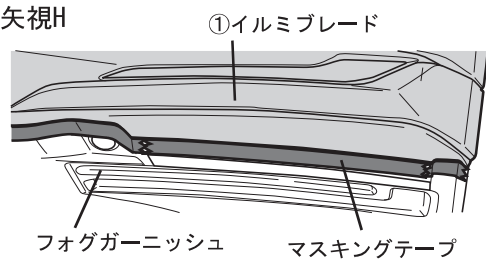
①イルミブレードとフォグガーニッシュのメッキ部品との隙を確認して取付を行なう



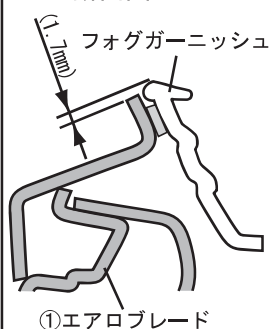
2. ①イルミブレードの外周に合わせてマスキングテープを貼り付ける。(図 8 参照)

3. ①イルミブレードをフォグガーニッシュから取り外す。

**矢視H**



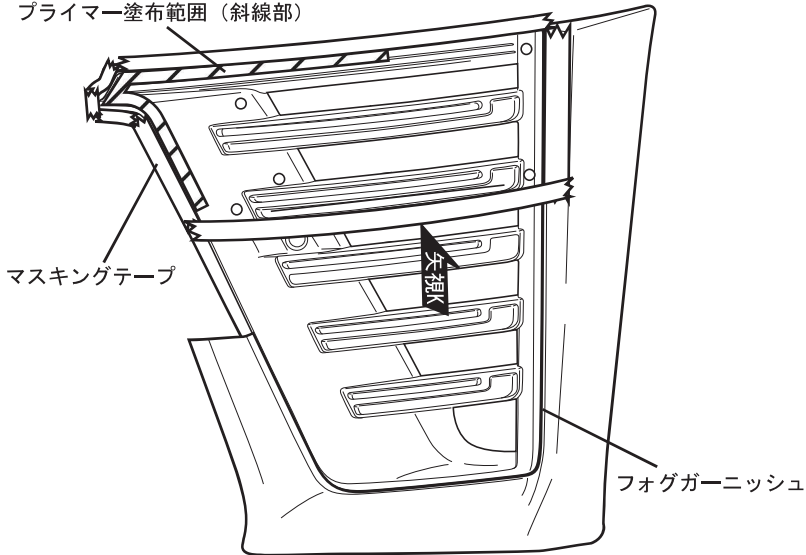
**J-J 断面図**



<図 8>

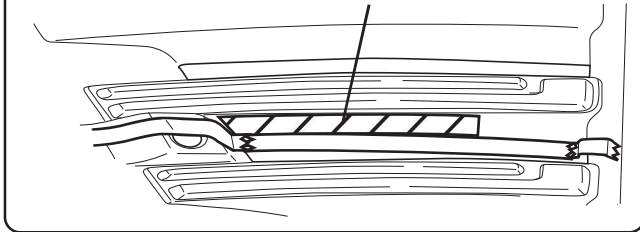
## V.プライマーの塗布

プライマー塗布範囲（斜線部）



矢視K

プライマー塗布範囲（斜線部）



<図9>

1. 両面テープ貼付部（斜線部）を脱脂し、⑤PACプライマー N200を塗布する。（図9参照）

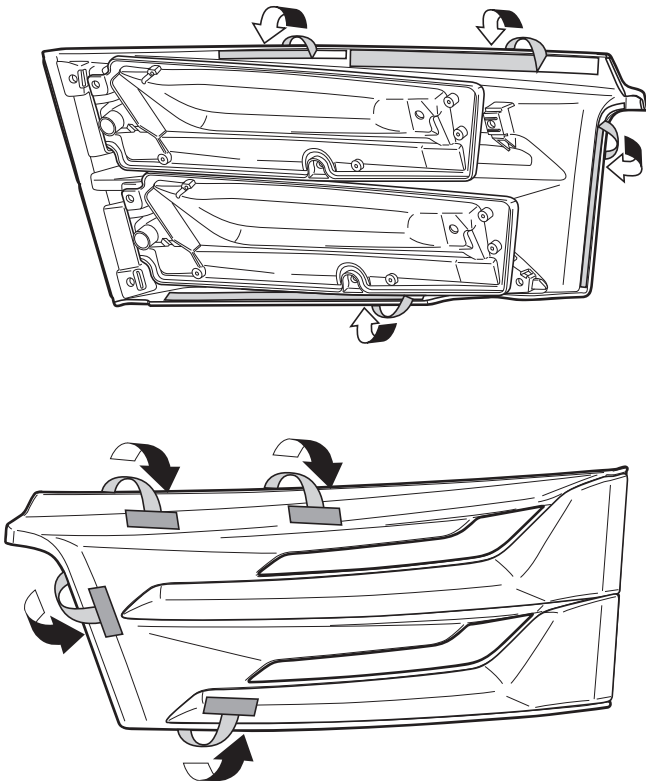


### アドバイス

- ・ PACプライマーN200は特に塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ・ PACプライマーN200塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。
- ・ ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。

2. プライマー乾燥後、貼り付けてあるマスキングテープを剥がす。

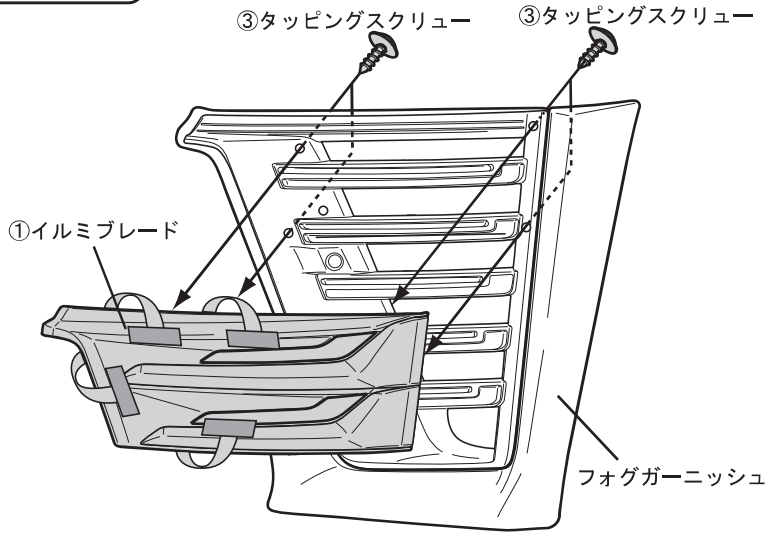
## VI.取り付け準備



<図10>

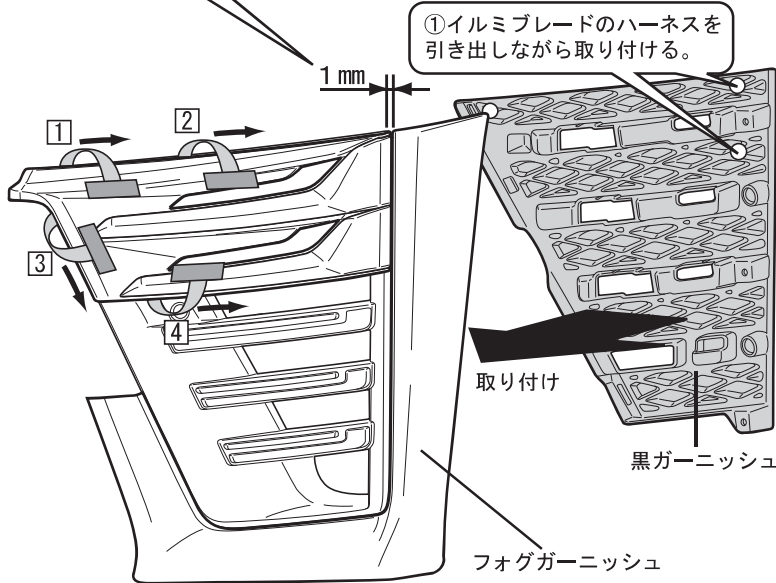
1. ①イルミブレードの両面テープ離形紙を少し剥がし、表側へ折り返してマスキングテープで仮固定する。（図10参照）

## VII. 取り付け

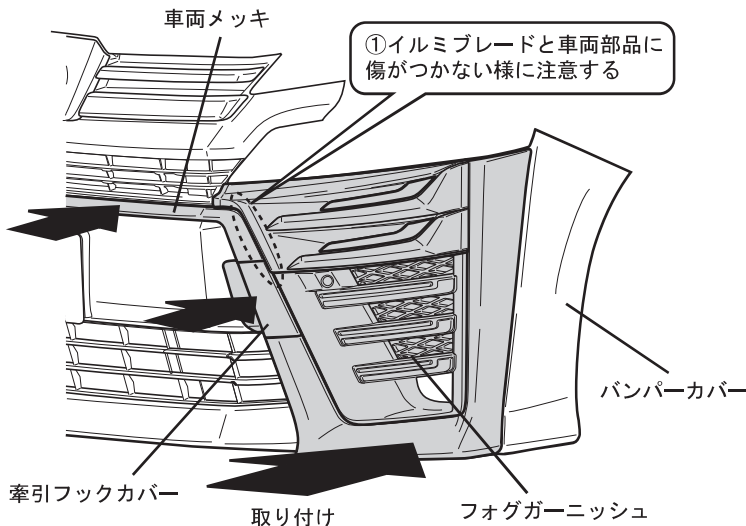


<図 1 1>

①イルミブレードとフォグガーニッシュのメッキ部品との隙を確認して取付を行なう



<図 1 2>



<図 1 3>

- ①イルミブレードを仮当て時と同様の要領でフォグガーニッシュに当て、脱落防止の為に③タッピングスクリューで仮固定する。(図 1 1 参照)



### アドバイス

- 両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。他の部位につかない様に気を付けて作業して下さい。

- 両面テープ離型紙を①～④の順に引き抜きながら圧着する。(図 1 2 参照)



### アドバイス

- 離型紙が途中で切れない様に、製品を少し浮かせながら離型紙を引き抜いて下さい。
- 両面テープの圧着は、500kPa (5kgf/cm<sup>2</sup>) 程度の力で行なって下さい。

- ③タッピングスクリューを締め込む。

- 黒ガーニッシュをフォグガーニッシュに取り付ける。(図 8 参照)

※取り付けの際、①イルミブレードのハーネスを黒ガーニッシュに開けた穴から引き出して下さい。

- フォグガーニッシュをバンパーカバーに取り付ける。(図 1 3 参照)

- フロントグリル・車両メッキ・牽引フックカバーの順番で、各部品をバンパーカバーに取り付ける。(図 1 3 参照)

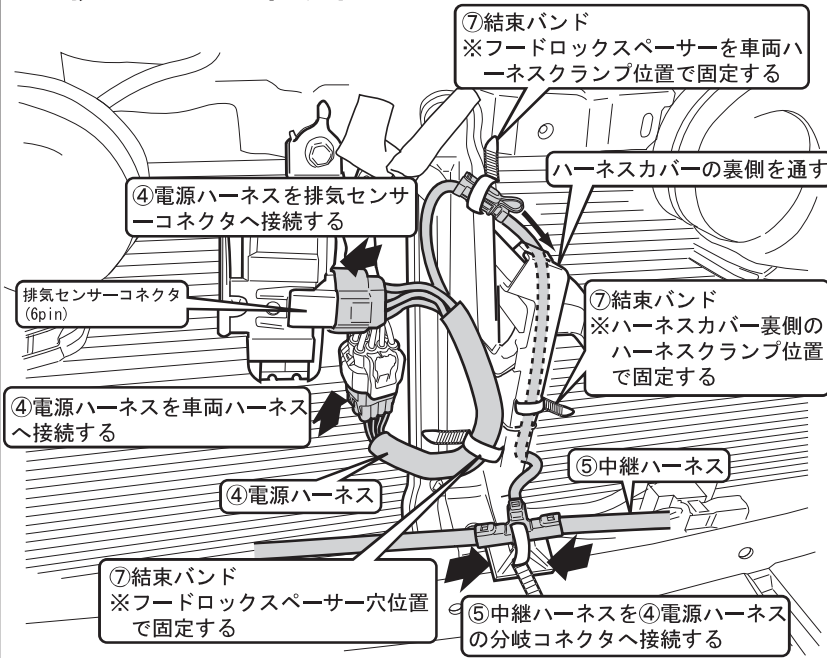


### アドバイス

- 車両部品に傷が付かないように、マスキングテープ等で保護をして作業を行って下さい。

#### IV.電源ハーネスの取り廻し

##### ※排気センサー有り車両



<図1 4-1>

※<図1 4-1>は排気センサー有り車両で行う作業です。

- ④電源ハーネスを、排気センサーコネクタ (6pin) と、接続されている車両ハーネスの間に取り付ける。
- ④電源ハーネスを左図要領で配策し、⑥マウントベースと分岐コネクタを⑦結束バンドで固定する。  
(図1 4 参照)
- ⑤中継ハーネスを④電源ハーネスに接続する。  
(図1 4 参照)
- ⑤中継ハーネスがフードロックスペーサーの金属部に接触していない事を確認しながら⑥マウントベースを車両に固定する。  
(図1 4 参照)

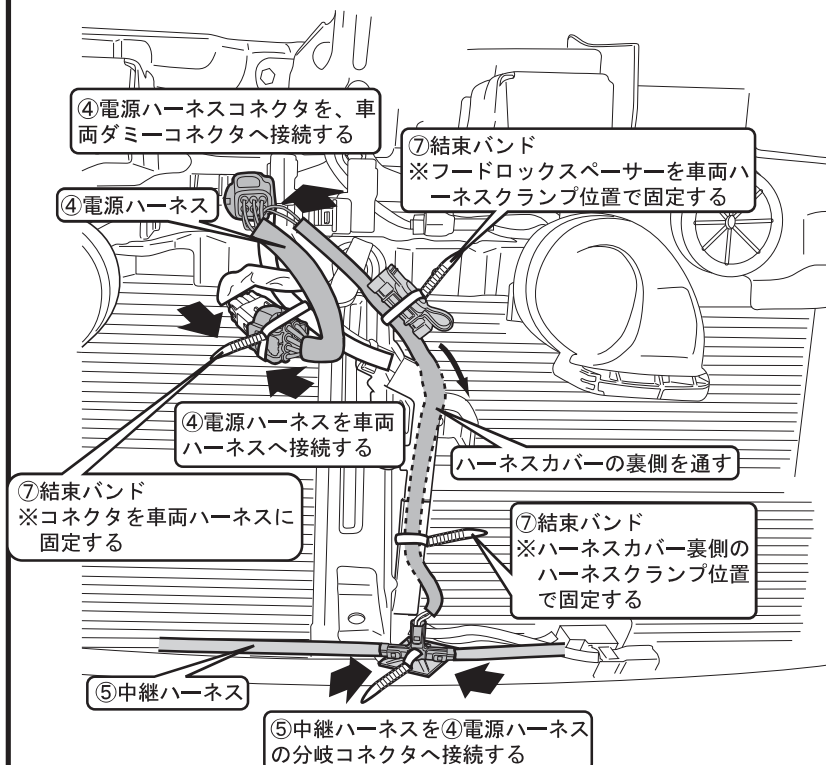
##### ※排気センサー無し車両



<図1 4-2>

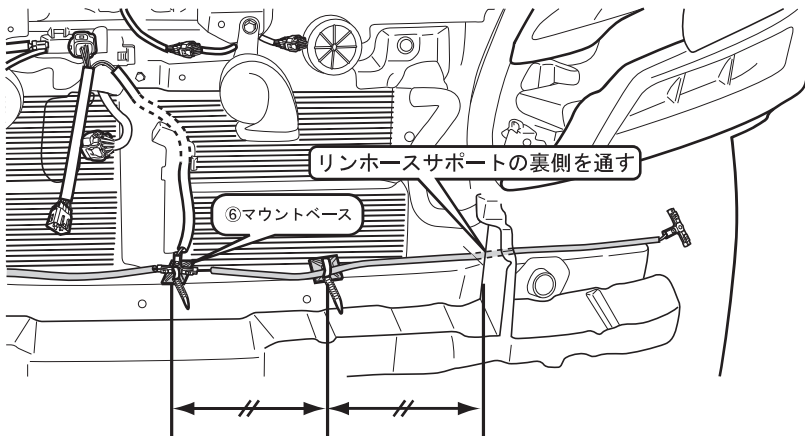
※<図1 4-2・3>は排気センサー無し車両で行う作業です。

- 車両ハーネスを車両ダミーコネクタから取り外す。  
(図1 4-1 参照)



<図1 4-3>

- ④電源ハーネスを左図要領で配策し、⑥マウントベースと分岐コネクタを⑦結束バンドで固定する。  
(図1 4-2 参照)
- ⑤中継ハーネスを④電源ハーネスに接続する。  
(図1 4-2 参照)
- ⑤中継ハーネスがフードロックスペーサーの金属部に接触していない事を確認しながら⑥マウントベースを車両に固定する。  
(図1 4-2 参照)

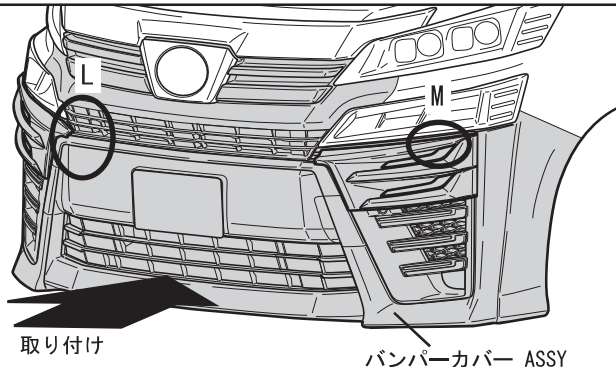
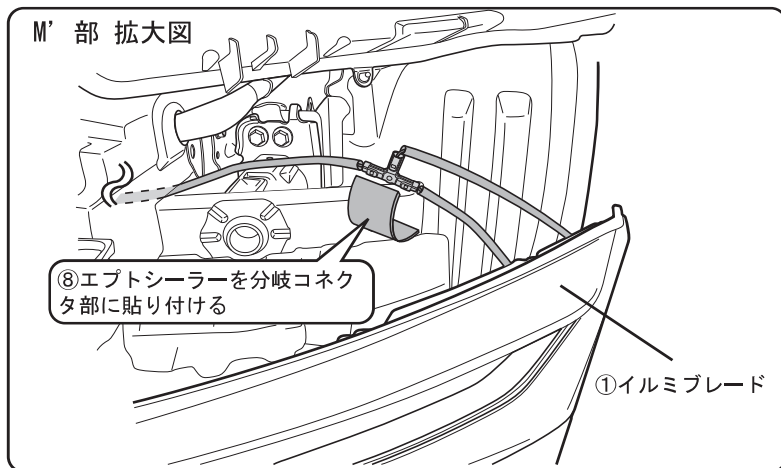
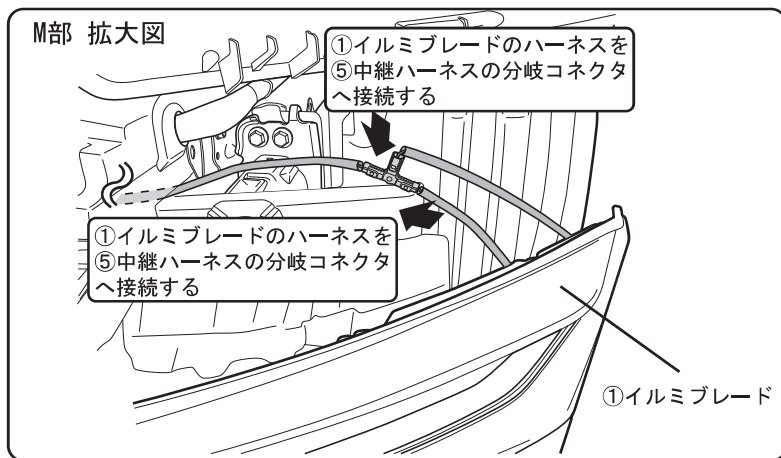


⑥マウントベースを貼り付け、⑦結束バンドを使用して⑤中継ハーネスを固定する（反対側も同様）

<図 15>

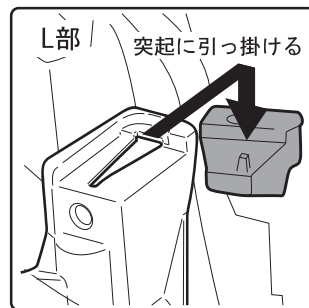
- ⑤中継ハーネスを左図要領で配策し、⑥マウントベース・⑦結束バンドで固定する。（図 15 参照）

## V. 車両バンパー取付



<図 16>

- バンパーカバー\_ASSYを左図位置のフックに引っ掛ける。（図 16 L部参照）



- ①イルミブレードのハーネスを、⑤中継ハーネスに接続する。（図 16 M部参照）
- 補機バッテリーの（-）端子を接続し、イグニッションと連動して点灯するかを確認する。
- バッテリーの（-）端子を外す。
- ⑧エプトシーラーを①イルミブレードと⑤中継ハーネスの接続部に巻く。（図 16 M'部参照）
- バンパーカバー\_ASSYを車両へ取り付ける。



### アドバイス

- 車両部品を取り扱う際は、トヨタ自動車整備マニュアルを参照して下さい。

- 車両に貼り付けてあるマスキングテープ等を全て剥がす。
- 補機バッテリーの（-）端子を元に戻す。
- 各システムの設定・確認を行い、取り付け作業終了です。



### アドバイス

- 必ずミリウェーブレーダーセンサASSYの調整を実施して下さい